

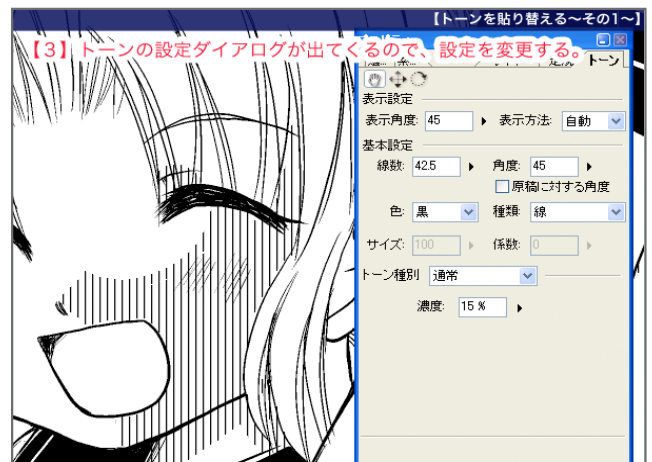
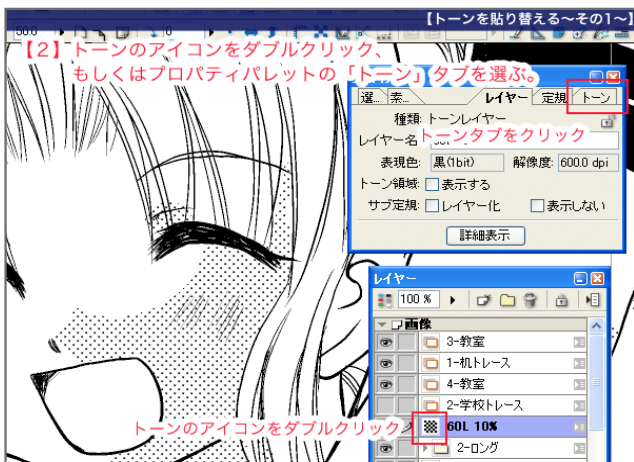
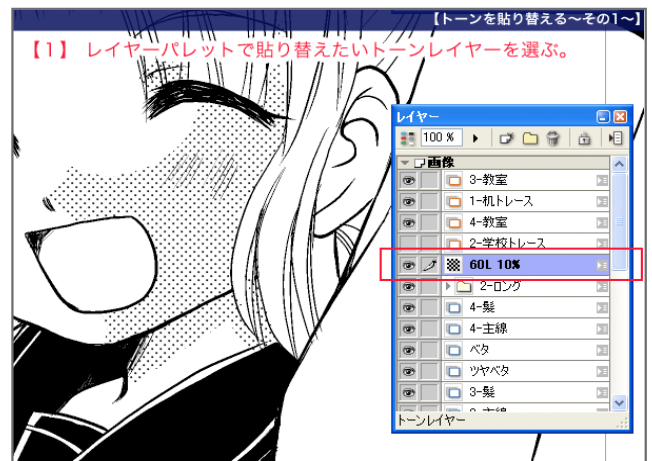
# トーンの基本操作 ～その2～

前はトーンの基本操作、貼り付けて、削って、貼り足して……を紹介しました。今回はトーンの貼り替え（柄の変更）や柄の移動など、前回できなかったトーンの基本操作その2を紹介します。

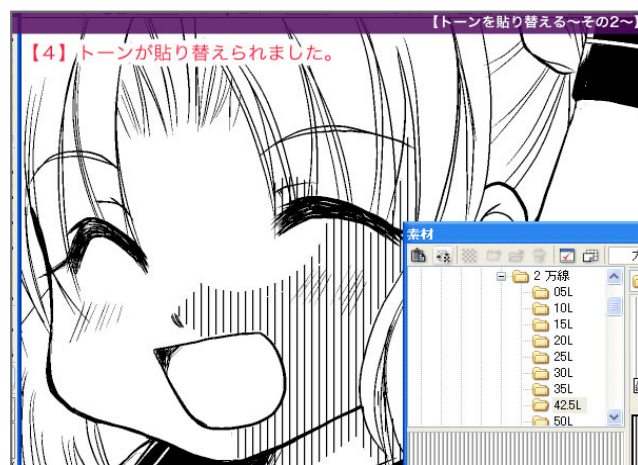
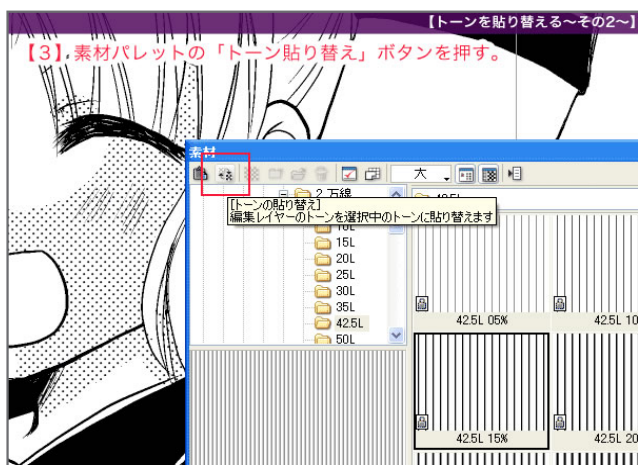
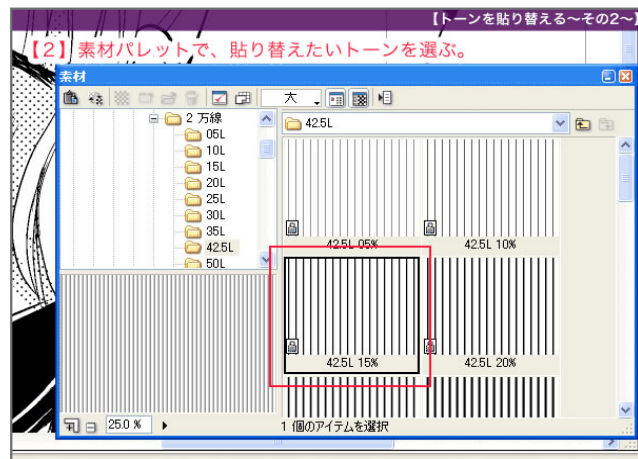
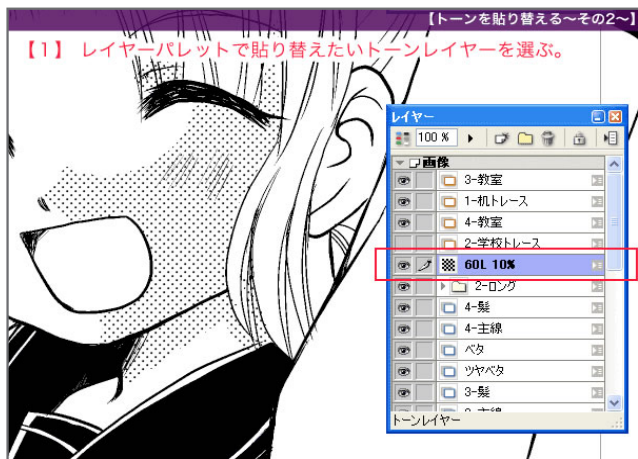
## トーンを貼り替え（柄の変更）たい時は……

トーンを貼ってみたいはいいけれど、ちょっとイメージと違うので別のトーンにしたい、と思う時があります。ComicStudioでは後からトーンの貼り替え（柄の変更）が簡単に行えるようになっています。

### トーンを貼り替える～その1～



## トーンを貼り替える～その2～

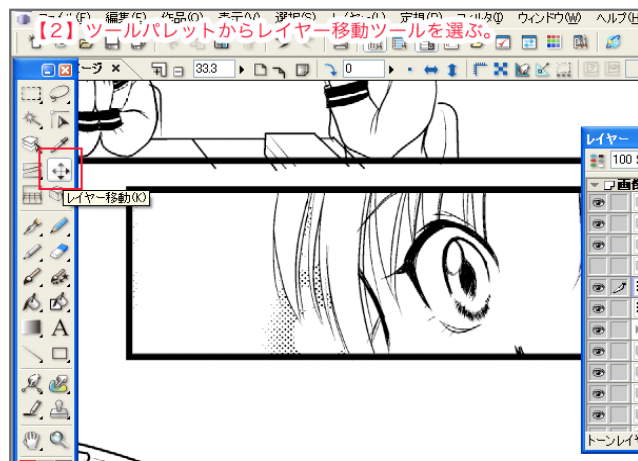
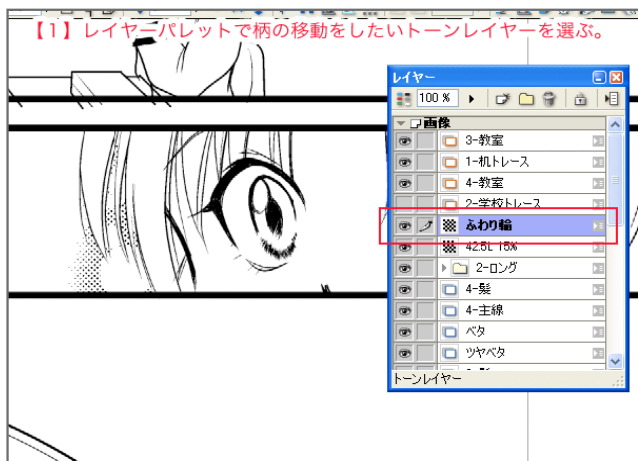


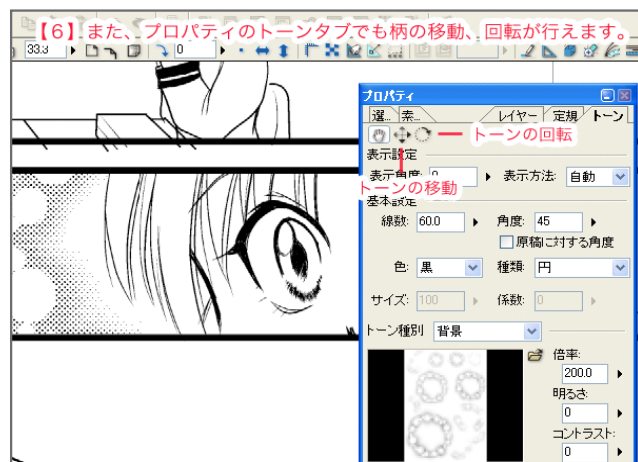
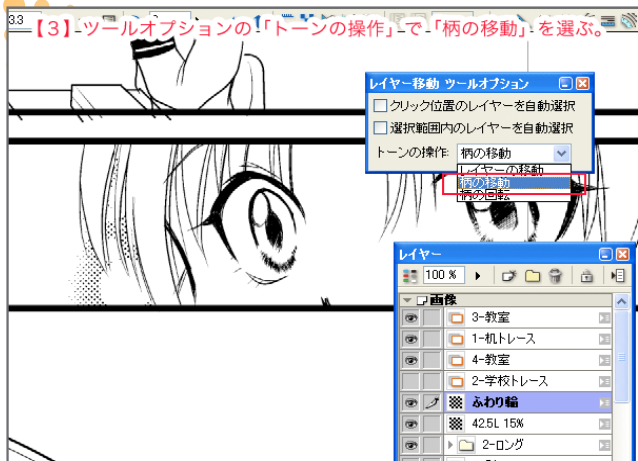
トーンの貼り替えは何度でも行えます。自分のイメージにあうまで調整ができますが、同じトーンレイヤーにあるものは一緒に変更されてしまうので、注意が必要です。

なので、トーンを貼るときは同じ種類のトーンでも、パーツごとにレイヤーを分けておくことをおすすめします。(影と髪の毛に同じトーンを使う場合は、影用のトーンで1枚、髪の毛のトーンで1枚という具合に)

## トーンの模様をずらす、回転させる

柄モノのトーンを貼っているときに、「この模様をちょっと動かしたい」と思うことがあります。そういう時は「レイヤー移動ツール」でトーンの柄だけを移動させることができます。





柄の移動は、キーボードの十字キー（←↑↓→）でも行えます。柄を微調整したいときはこのキーを使うと便利です。  
 レイヤー移動ツールを選択中に「Shift」キーを押しながらドラッグすると柄の移動、「Ctrl」キーを押しながらドラッグすると柄の回転を行うことができます。  
 ツールオプションから移動先を選ぶのが面倒なとき、覚えておくと便利です。

また、レイヤー移動ツールのツールオプションにある「クリック位置のレイヤーを自動選択」にチェックを入れておくと、レイヤーパレットでレイヤーを選択しなくても、画面上で移動したいレイヤーをクリックして移動することができます。

## ComicStudioのトーンはここが違う！

貼り足しが簡単にできたり、柄の移動ができたり……便利なComicStudioのトーン。実は、ComicStudioのトーンは他のトーンとちょっと違うのです。

他のグラフィックソフトでスクリーントーンを貼ると、基本的に「網点の画像を選択した範囲に貼りつける」ことになります。なので、たとえば貼り足したい時は、選択範囲を作ってトーンをもう一回貼り足す必要があったり、一回消してしまったり、削りすぎてしまった時に、貼り直しがしにくかったりします。

ComicStudioのトーンレイヤーの場合、実は画像ではなく「この範囲に○線○パーセントの網点を貼っている」というようなデータになっているので、あとから簡単に貼り足しや貼り直しが行えたり、解像度を変えて書き出したときにモアレがおきません。

このトーンの特徴は、線画とトーンレイヤーを統合したり、レイヤーのラスターライズや、レイヤーの変換をしてしまうと失われてしまうので、慣れるまでは、基本的に「トーンレイヤーは統合しない」「レイヤー変換・ラスターライズしない」ことをオススメします。

さて、色々できるComicStudioのトーン。次回もトーンのちょっとしたテクニックを紹介していこうと思います。